

## 第13回

# 安全・安心サイエンス「感染症・バイオテロ勉強会」

## 演 題：見なし輸出・技術移転と企業における輸出管理

**講演概要：**バイオテロ防止における輸出管理の役割、生物兵器関連品目の拡散防止の国際的な枠組み、外為法に基づく規制、米国における技術輸出・見なし輸出違反及びスパイ法違反、企業における輸出管理、大学における輸出管理等について、違反事例等をまじえて紹介する。

## 講 師：新留 二郎 氏

株式会社 東芝 輸出管理部 企画・教育・監査担当 参事

**講師略歴：**1974年 3月 九州大学 大学院 応用原子核工学科 修了  
1974年 4月 株式会社 東芝 入社  
1974年 8月～1999年9月 原子力事業部 原子力エンジニア  
1999年10月～現在 本社 輸出管理部 企画・教育・監査担当  
2004年 9月～現在 青山学院大学院 国際マネジメント研究科  
客員教授 担当：安全保障輸出管理  
2005年5月～現在 日本安全保障貿易学会 会計幹事

## コーディネーター：青木 節子 慶應義塾大学 総合政策学部 教授

現代の特徴の1つは、ヒト、モノ、技術の国境を越える自由な移動であり、このような移動の自由は、多くの場合、社会と個人に富をもたらしていることに疑いはない。しかし、同時に大規模テロ、感染症、組織犯罪、環境破壊など新たな安全保障上の脅威も生み出している。そこで、本年度の安全・安心サイエンス勉強会は、ヒト、モノ、技術の自由な移動から生じる利益を最大限尊重しつつ、感染症やバイオテロといった負の側面を防止するための法制度上の方法について、国際枠組、各国国内法、法執行活動等の側面から検討する。

第13回は、企業がその社会的責任を果たすために実施する機微技術管理の現状と課題についての考察である。

**開催日時：**2008年7月19日（土）16:00～17:30

**開催場所：**慶應義塾大学 三田キャンパス 東館6階Lab

**申込方法：**参加を希望される方は下記のアドレスからお申込ください。「事前参加登録制」です。席に限りがございますので、定員に達し次第締め切らせていただきます。  
なお、お送りいただいた情報はプロジェクト内で管理しております。

**申込先：**<http://biopreparedness.jp/>

**申込締切：**2008年7月11日（金）

### プロジェクト事務局

慶應義塾大学医学部 慶大医予防医学校舎317

H20安全安心

電話&FAX 03-3351-0508(信濃町キャンパス)

当日の連絡先:03-5427-1293 PJ直通(15:00～)

セミナー運営担当:相原 弥生

E-MAIL:seminar@biopreparedness.jp

本研究会は、平成20年度文部科学省委託業務「安全安心プロジェクト」(研究統括:慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所 上席研究員 竹内 勤)により実施しています。